

岡本会長と連合三重の吉川会長が意見交換

平成31年1月31日（木）

平成31年1月31日（木）、岡本直之会長（三重県商工会議所連合会）は県連会議室にて、吉川秀治会長（連合三重）から「2019年春季生活闘争に関する要請」を受け、以下の要請項目について意見交換を行いました。

岡本会長は、働き方改革関連法の施行や入管難民法改正にともない、県内企業も様々な対応が求められるということに触れながら、県連会長の立場から意見を述べ、懇談しました。

また、連合が呼びかける長時間労働是正に向けた共同宣言「Action36」の協定書にそれぞれが署名し、健やかに働くことのできる社会の実現に向けた取り組みに協力して行くこととなりました。



▲ 要請書を受け取る岡本会長（左）

要請項目

1. 賃金の維持・改善について
2. すべての労働者の立場にたった働き方の見直し
 - （1）長時間労働の是正と均等待遇の実現
 - （2）人材育成と教育訓練の充実
 - （3）ワークルールの推進
 - （4）男女平等の推進
3. すべての人が安心して暮らせる社会の実現に向けて
 - （1）企業間における公正・適正な取引関係の確立
 - （2）医療・介護・保育サービスの人材確保
 - （3）子ども・子育て支援の充実と待機児童の解消等の財源確保
 - （4）外国人労働者の家族を含めた支援の強化



▲ Action36の協定書に署名



▲ 意見交換の様子